

生活協同組合 コープみらい案内

Co-op Mirai Profile

2024 - 2025

CO-OP
コープみらい
「ともに」の力で、笑顔の明日を

「ともに」の力で、 笑顔の明日を^{あした}

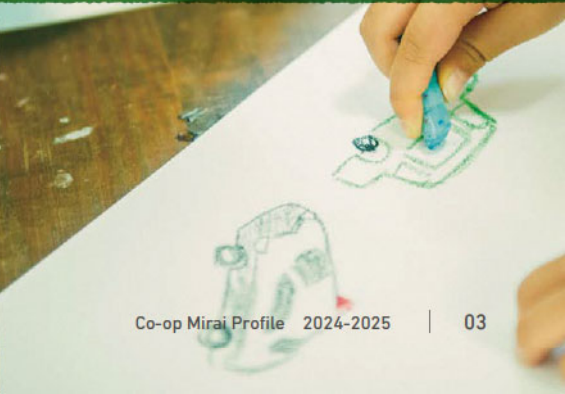
あなたは、どんな未来を実現したいですか？

私たちの食や暮らし、環境は日々変化し、この先も予測できないことが起きるかもしれません。そんな時代に、生協だからこそ果たすべき役割があります。

「ビジョン2025」の取り組みをさらに前進させ、多様な暮らしや価値観に応えるため、2024年6月、コープデリグループの新たなビジョン「ビジョン2035」を策定しました。メインメッセージは、“食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」の力で、笑顔の明日を”。組合員・働く仲間がともに掲げる、2035年のめざす姿です。

一人ひとりの助け合いの気持ちと行動、コープデリグループの事業と活動の総合力、生産者や取引先、地域の皆さまや行政・諸団体との協力の力。こうした力が合わさり、誰もが幸せで笑顔でいられる明日を創っていきたい。そんな想いを込めた「ビジョン2035」。実現に向け、私たちの取り組みは続きます。





コープみらいは、 どんな時も組合員とともに。 助け合いの組織として、 くらしの願いを叶えるために 活動しています。

コープみらいは、ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうの3生協が2013年に組織合同(合併)して誕生した、375万人が加入する日本最大の生協です。

宅配、店舗事業を中心に福祉や保障、サービス事業などを通じて、組合員の声に耳を傾け、一人ひとりのくらしと地域に寄り添った事業を展開してきました。また、組合員による自主的な活動(組合員活動)のサポートを行い、事業と組合員活動の総合力で、より良いくらしと地域づくりをめざしています。



**組合員の声から
さまざまな活動に広がっています**

理念

CO-OP

ともに はぐくむ 暮らしと未来

理念は、数十年変わらない、私たちの存在意義、存在理由、使命です。
どんなに社会が変化しても、生協がどうあるべきかを指し示す「北極星」のようなものです。

ビジョン2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし 「ともに」の力で、笑顔の明日を

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

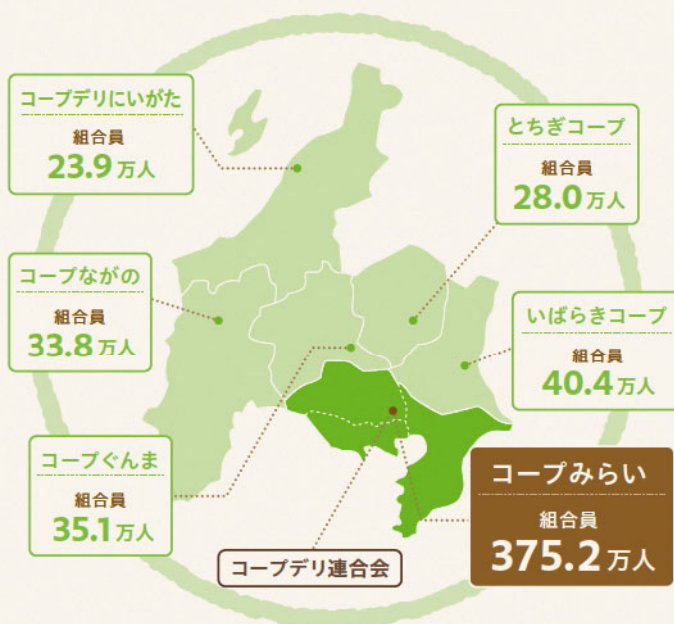
ビジョンは、10年後のめざす姿を具体的な言葉で表したものです。
組合員・働く仲間がともに掲げ、実現に向けた取り組みを進めています。

コープみらいは コープデリグループ の一員です

「コープ」は、協同組合“co-operative”の略です。
消費者が「出資金」を出し、事業や活動の「運営」
に参加し、「利用」する生活協同組合（生協）です。
一人ひとりの暮らしのさまざまな願いを協同し、
助け合いながら実現していく組織です。
コープみらいは、理念・ビジョンを同じくするコー
プデリ連合会と各会員生協からなるコープデリグ
ループの一員として、事業・活動を進めています。

生協（消費生活協同組合）とは

組合員による「出資」「利用」「運営」
により生協は成り立っています。



コープデリグループ

組合員数は2024年3月20日現在



つかうほど、じぶんらしく。 いつもの笑顔に、いつものふれあいを。

「つかうほど、じぶんらしく。」

組合員一人ひとりの暮らしに合った商品を、ライフスタイルに合わせてお買い求めいただける2つの宅配コースを用意しています。配達時には毎週同じ担当者が組合員のもとを訪れ、商品をお届けするのはもちろん、ささやかなコミュニケーションを通して“安心”をお届け。

「いつもの担当者とお気に入りの商品と、何気ない会話で笑顔あふれるひとときを。」

私たちが宅配事業を通して、組合員の皆さんとつくりたい日常です。

じぶんらしい生活を支える 2つの宅配コース

週1回、食品や生活雑貨など6,000品目以上の中から注文された商品をお届けする「ウイークリーコープ」と、週3日からお弁当(夕食宅配)やミールキットなどをお届けする「デイリーコープ」があります。お気に入りの商品をお選びいただき、暮らしに合わせてお届けします。



配達と見守りで 「地域の安心」に貢献

コープデリ宅配は、約4,000台のトラックが同じ曜日、同じ時間帯に、同じ道を通って配達しています。コープみらいは東京都・埼玉県・千葉県の一部を除く全170自治体と「高齢者等の見守り協定」を締結。宅配・店舗事業をはじめとした事業の特性を生かし、行政と連携して「地域と住まう人の安心」のための見守り活動を推進しています。



TOPICS

コープデリミールキット ご利用が1.9億食以上に

「忙しくても手作りしたい」「毎日の献立を考えるのが大変」「夕ごはん、家族を待たせたくない」。そんな食事に関する悩みを解決するため、コープデリミールキットは2013年に誕生しました。おかげさまで、これまでの利用が1.9億食*を超える商品群へと成長。魚料理も手軽に調理できる冷凍ミールキット「ピストロデリ」も登場しました。

2021年には「組合員のくらしと利用者視点」を大切に商品設計が評価され、グッドデザイン賞を受賞しています。

※コープデリグループ6生協の販売点数の食数換算合計





おいしさと安心を、うれしい価格で。 生活を応援する売り場づくり。

“おいしさと安心を、うれしい価格で。”を事業目標に、毎日の暮らしに役立つ商品がきっと見つかる魅力的な売り場づくりに取り組んでいます。また、お店のタイプも大型のスーパーマーケットからコンパクトなミニコープ、ネットスーパーまでさまざまに展開。お買い物にお困りの方へ移動店舗での販売も行っています。いつでもどこでも、一人ひとりの暮らしに合わせて利用することができ、そのたびに喜んでいただける店舗と売り場づくりをこれからも進めてまいります。

※ネットスーパー、移動店舗は一部地域で展開しています。



品質とおいしさにこだわった コープならではの商品

コープ商品や産直品を中心に、「コープならではの」商品をバラエティー豊かに品ぞろえ。おいしさはもちろん、安心して召し上がっていただけるよう、品質・価格・産地にこだわった商品を多数ラインナップ。店舗専用の惣菜工場「桶川デリカセンター」では、コープならではのおいしさと品質を追求した商品開発を進め、売り場の魅力を向上させていきます。



フードドライブで 「もったいない」を 「ありがとう」に

フードドライブは、家庭で眠っている食べ物や品質に問題がない食品を持ち寄り、地域のフードバンクや福祉団体などに寄贈する活動です。コープみらいのお店には、皆さまから食品をお預かりする専用のボックスを設置しています。

※フードドライブ専用ボックスは一部店舗と組合員施設に常設しています。



TOPICS

お店から出た食品廃棄物を 再生可能エネルギーに！

コープみらいでは、お店からどうしても出てしまう食品廃棄物（生ごみ）をできる限り資源としてリサイクルしています。その方法の一つが、バイオガス発電です。コープみらいが出資するニューエナジーふじみ野株式会社（埼玉県ふじみ野市）では、コープみらいの店舗から出る食品廃棄物を発電の燃料として利用。発電された電気の一部はコープみらいの施設やコープデリでんきに活用されるなど、食品廃棄物の有効活用と温室効果ガスを排出しない発電および電気の利用を進めています。



事業・組合員活動を積み重ね、 地域に、社会に笑顔を広げています。

福祉事業



住み慣れた自宅や地域でじぶんらしく くらしの安心をつくる福祉サービス

ケアプラン作成、訪問介護、訪問看護、デイサービス、障害福祉サービスなどの提供、(看護)小規模多機能ホーム「コープ夢みらい」の運営を通じて、「住み慣れた自宅や地域で安心して過ごしたい」という組合員の思いに応えます。

このほか、サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ」を運営しています。

保障事業



組合員とその家族のために 未来のくらしに寄り添う保障(共済・保険)

CO・OP共済は、生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざという時に役立つ保障内容、わかりやすい手続きといった改善を常に進めながら、組合員とその家族に寄り添い、役立ち続ける事業を目指しています。また、コープデリ保険センターは、(一社)生命保険協会が実施した「業務品質評価運営」の代理店として認定され、組合員により安心いただける保障を提供しています。

サービス事業



日々のくらしを支え、お役立ちできるサービスを提供 心豊かなくらしづくりを応援

日々織りなすくらしをもっと楽しく、快適に。株式会社コープデリサービスを通じて、コープデリ チケット、コープデリ くらしのサービス(エアコン・ハウスクリーニング、ふとんリフォームなど)、コープデリハウジング(新築・外構・リフォームなど)、コープデリのお葬式 コプセ(施行前後の各種相談)の4つの事業を展開しています。

エネルギー供給事業



くらしにも環境にもやさしい コープデリでんき、コープデリガス

コープデリグループの事業所に設置した太陽光発電パネルで発電した電気を含む「再生可能エネルギー100%メニュー」と、「ベーシックメニュー」の2種類からなる「コープデリでんき」を組合員に提供しています。また、経済メリットを追求した都市ガス供給事業「コープデリガス」も提供しています。

コープみらい財団の社会貢献

2015年に設立した一般財団法人コープみらい社会活動財団(略称:コープみらい財団)では、ひとり親家庭(両親のいない方も含む)の高校生・高等専門学校生への返済不要の「給付型奨学金事業」を行っています。奨学金の財源は、事業に賛同いただいた、28,000人※を超える奨学金応援サポーター(組合員)の募金です。多くのサポーターに支えられ、2024年度の奨学生(3学年の合計)は1,658名になりました。

このほか、くらしや文化の向上、社会発展、地域の活性化をめざす市民団体の活動・事業に対する助成活動を行っています。

※2024年4月現在



組合員活動

コープみらいは、組合員一人ひとりの「〇〇したい」という気持ちを大切に、つながりの場をたくさんつくっています。組合員の方はもちろん、地域に住むさまざまな方まで、「皆が語り、笑い合い、そしていざという時に支えあい、助けあえる」—そんな安心と笑顔が広がるコミュニティをこれからも広げていきます。

1

地域の誰もが集える居場所「みらいひろば」

組合員や地域の方など誰でも参加できる地域の居場所。コープ商品を囲んだおしゃべりや、くらしに関する情報交換などの場として、各地域で毎月開催しています。



2

子育て中の方同士でつながる「子育てひろば」

「育児の相談相手がいない」「悩みを共有したい」といった思いを抱える子育て中の親子が、気軽に出会い交流できる場を各地域で運営しています。



3

組合員同士の助け合い「くらしのたすけあいの会」

くらしの中でちょっとした手助けが必要な組合員と、「自分ができることを活かしたい」と援助を希望する組合員をつなぎ、組合員同士で助け合う取り組みです。



4

活動サポーターによる「出前授業」

食育や環境、防災・減災など、体験しながら楽しく学びたいという地域のニーズに応えた学習プログラムを用意。活動サポーターが学校などで「出前授業」を行っています。



5

組合員の自主的な活動をサポート「地域クラブ」

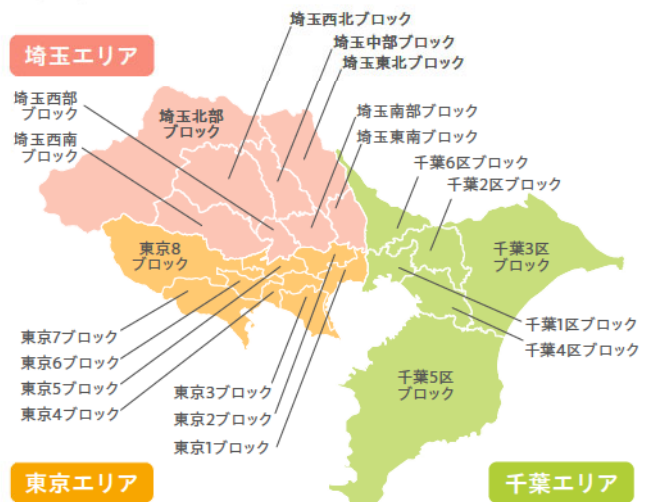
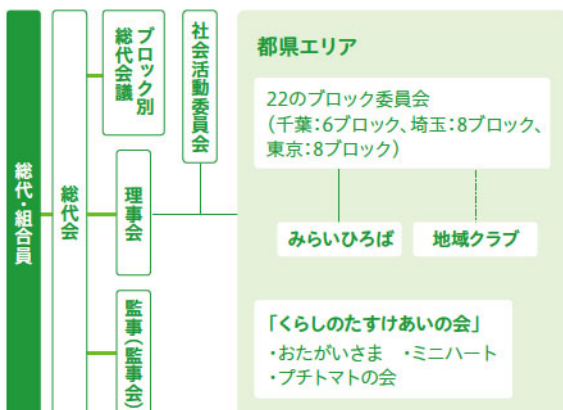
食、子育て、福祉、平和など、くらしに関わるテーマで組合員と地域の方が主体的につながり、継続的に行うグループを「地域クラブ」として活動をサポートしています。



組合員活動を支える 22のブロック

コープのファンづくりや地域社会づくりに参加し、組合員活動(参加とネットワーク)を進める地域の単位として、コープみらいのエリアを22のブロック(地域)に分けて委員会を設置。ブロック委員は組合員の立場で地域の組合員活動をサポートしています。

機関運営および組合員組織運営の概略図



日々の事業・活動から サステナブルな社会へ、 くらしの笑顔と豊かさを未来へつなごう。

未来へつなごう

コープみらいは、2030年に向けた世界共通の取り組みであるSDGsの考え方に賛同し、コープデリグループとして5つの重点課題を設定しました。「未来へつなごう」をスローガンにその達成に向けて取り組んでいます。また、組合員のくらしや地域社会で生まれた課題の解決のために、事業と活動を通してさまざまな取り組みを進め、その実現に貢献していきます。

持続可能な生産と消費のために

取り扱う商品について、原料調達から生産・消費までを通して、人権や環境などに配慮した「責任ある調達」ができるよう取り組みを進め、商品とくらしのあり方を見直していきます。

SDGs重点課題

主たる目標



関連する目標



未来へつなごう | 4つのプロジェクト

組合員がコープの商品利用を通じて、生物多様性や自然環境の保護、持続可能な農業の推進、アフリカの子どもや母親の支援などの社会貢献に参加する「4つのプロジェクト」に取り組んでいます。



美ら島応援もずくプロジェクト



佐渡トキ応援お米プロジェクト



お米育ち豚プロジェクト



ハッピーミルクプロジェクト

安心して暮らせる地域づくりのために

くらしの安心と地域を支える生活インフラとしての機能を果たし続けられるよう、自治体や地域住民・諸団体と連携し、さまざまな取り組みを進めています。

SDGs重点課題

主たる目標



関連する目標



未来へつなごう | 災害復興支援、生活困窮者支援

地震や豪雨などの自然災害が頻発する中、生協は組合員への支援募金の呼びかけや、復興に向けた現地への職員派遣など、被災地・被災者支援に取り組んでいます。また、フードバンクなどを通じた食料支援や、ひとり親や両親のいない高校生を対象に返済不要の奨学金給付事業を行っています。

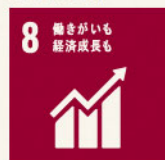


人にやさしく誇りが 持てる組織を目指して

一人ひとりの人権・多様性が尊重され、誰もが安心して働ける職場づくりを進めます。

SDGs重点課題

主たる目標



関連する目標



未来へつなごう | 働く人と働き方の多様性を尊重

多様性(ダイバーシティ)が尊重され、それぞれの個性や能力に応じて活躍でき、自信と誇りを持って生き生きと働ける職場づくりを大切にしています。ジェンダー平等が実現され、性差に関係なく職員が活躍し役割発揮できる職場をつくります。



子育てサポート企業として厚生労働省の認定を受けて「くるみんプラス」を取得しています



健康経営優良法人2024(大規模業部門)に認定されました

100年後の地球のために

再生可能エネルギーの利用・普及を進め、地球温暖化対策を進めます。

SDGs重点課題

主たる目標



関連する目標



未来へつなごう | 環境・温暖化防止

温室効果ガス削減計画を策定し、2030年にCO₂排出量を2013年度比で60%削減、2050年には排出量実質ゼロを目指す目標を掲げています。物流センターなどの施設や産直産地に設置した太陽光発電パネルで発電した電気、店舗から排出される食品残さの一部を利用したバイオガス発電の電気など、再生可能エネルギーの創出と活用を進めています。



店舗に設置した太陽光発電パネルと屋上緑化

世界中の人々の 平和で健康な生活のために

世界から飢餓や貧困をなくし、世界平和を実現できる取り組みを進めます。

SDGs重点課題

主たる目標



関連する目標



未来へつなごう | ハッピーミルクプロジェクト

アフリカでは自然災害や栄養不良などにより、多くの子どもたちが命の危険にさらされています。コープデリグループは幼い命を守るため、「コープの牛乳で子どもたちを笑顔に」を合言葉に、2008年にハッピーミルクプロジェクトをスタート。牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善を支援しています。



©UNICEF/UN0241729/Dejongh

ごあいさつ

代表理事 理事長 くまざき しん
熊崎 伸



2024年6月に開催された第12回通常総代会にて、コープみらいをはじめとするコープデリグループの10年後のありたい姿をあらわす「ビジョン2035」が承認されました。これは約2年に渡り、組合員からたくさんのご意見をいただき、職員同士が未来を語り合いながら策定されたものです。2035年に目指す姿への共感と生協への期待、生産者支援や次世代の暮らしを思いやる気持ちなど、寄せられた多くの想いを大切に、グループ530万人の組合員・2万5,000人の職員がともに掲げるビジョン2035の実現を目指します。

2024年1月に発生した能登半島地震では、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。コープみらいでは宅配・店舗などで緊急支援募金を呼びかけ、組合員から3億円を超える善意をお寄せいただきました。全国の生協からの募金と合わせ、被災された方々への支援に役立てられています。また、被災地の生協であるコープいしかわの配達事業を支えるため職員を1年間派遣するとともに、被災された方々を応援するメッセージをお届けするなど、被災地域の復興をさまざまな形で支援しています。これからも助け合いの組織として、被災された方々に寄り添った支援を続けてまいります。

組合員の暮らしと地域社会に貢献し続けるためには、職員がイキイキと働き続けられる職場づくりが不可欠です。コープみらいは、職員一人ひとりの多様性が尊重され、安心して働き続けられる職場づくりを進めるため、「健康経営」を推進することを宣言。2024年3月に「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。これまでの取り組みに加え、健康でやりがいを持てる職場づくりにさらに取り組むことで、職員の成長と組織の成長につなげます。

価格高騰や気候変動、貧困と格差の拡大など、暮らしを取り巻く環境は厳しさを増しています。このような時代だからこそ、コープみらいは事業と活動の総合力で組合員の暮らしに貢献します。生産者・取引先の皆さま、行政・諸団体の皆さまとのパートナーシップを大切に、「ともに」の力で笑顔の明日を迎えられる社会を目指して、これからも歩みを進めてまいります。

■ コープみらいの概況

※特記ない限り数値は2024年3月20日現在

総事業高・供給高・経常剰余金(2023年度)

総事業高	4,304億 3,477万円
供給高	4,183億 3,309万円
うち宅配事業	2,947億 5,967万円
うち店舗事業	1,172億 6,779万円
電気小売事業	63億 562万円
利用事業収入	1億 3,342万円
福祉事業収入	24億 4,528万円
その他事業収入	95億 2,297万円
経常剰余金	124億 9,364万円

職員数

正規職員在籍者数	3,125人
パート職員※ 在籍者数	10,214人
パート職員の正規職員換算人数	4,510人

※「パート職員」はパート・アルバイト職員、非常勤介護ヘルパー職員の合計です
※コープデリ連合会などへの出向者は含んでいません

事業所などの状況

宅配センター数	76センター
配達車両台数(委託会社含む)	4,106台
店舗数	127店舗
うちスーパーマーケット型	69店舗
うちミニ型	58店舗
介護福祉事業所数	39施設

名称	生活協同組合コープみらい
設立	2013年3月21日
本部所在地	〒336-8523 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
事業エリア	千葉県、埼玉県、東京都

出資金

出資金	721億 7,848万円
-----	--------------

組合員数・組織率

組合員数	375万 2,240人
組織率(総世帯数に対する組合員世帯の割合)	27.3%

役員体制

代表理事 理事長	熊崎 伸
副理事長	永井 伸二郎 古賀 摩希子(非常勤)
代表理事 専務理事	河田 喜一
常務理事(事業管掌)	大川 昌彦
常務理事(宅配・EC事業本部長)	鳥羽 治明
常務理事(管理・開発管掌)	成田 章二
常勤理事(福祉事業担当)	圓尾 佐智子
常勤監事	稲生 修

※理事長・副理事長および常勤役員を記載しています(2024年6月6日現在)



◀ 経営情報はここから

<https://mirai.coopnet.or.jp/profile/financial/settle.html>

■ 沿革

2008年度 ●改正生協法施行 県域を越えた生協の合併が可能に

2010年度 ●ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょうによる組織合同検討委員会発足

2012年度 ●組織合同に関する3生協の臨時総代会で承認可決

2013年度 ●生活協同組合コープみらい発足、コープデリ連合会との一体運営開始

- 組合員数300万人に
- 3都県で初めて「コープみらいフェスタ」開催
- 移動店舗事業を千葉県袖ヶ浦市を中心に開始

2014年度 ●サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ四街道」開設

- コープデリグループ「ビジョン2025」策定
- コープみらいカレッジ開校

2015年度 ●一般財団法人コープみらい社会活動財団設立

- 「みらいひろば」スタート
- コープみらいとして初の新店、コープ高倉店オープン

2016年度 ●サービス付き高齢者向け住宅「コープみらいえ中野」開設

- コープ調布染地店、コープ府中寿町店、コープ中野中央店、コープ指扇店オープン

2017年度 ●電気小売事業「コープデリでんき」開始

- コープ中野鷺宮店、コープ東村山秋津町店オープン
- 店舗に常設型のフードドライブ食品回収ボックス設置開始

2018年度 ●3都県のすべての自治体と高齢者等見守り協定締結 ※鳥しょ部除く

- 小規模多機能ホーム「コープ夢みらい北本」開設
- コープみらい財団が給付型奨学金事業スタート

2019年度 ●都市ガス供給事業「コープデリガス」開始

- 看護小規模多機能ホーム「コープ夢みらい四街道」開設
- コープ府中車返店、コープ国分寺内藤店、コープ葛飾白鳥店オープン
- 台風15号、19号、21号災害の対応と支援活動

2020年度 ●新型コロナウイルス感染拡大の対応

- 初の多層階センター、コープデリ東靴谷センター、コープデリ町屋センター開設

2021年度 ●子ども・子育て支援基金設立

- SDGs重点課題「未来へつなごう」策定
- コープ久喜店オープン

2022年度 ●米200トンをフードバンクなどに寄贈(以降も継続)

- 「コープみらいフェスタ」4年ぶりに開催

2023年度 ●コープみらい創立10周年

- コープ杉並井草店、コープ調布染地店(増床移転)オープン
- 「健康経営」を宣言、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定

2024年度 ●「コープデリグループビジョン2035」策定



コープみらいのマスコットキャラクター
“ほべたん”と愛犬のきなこ

生活協同組合コープみらい

〒336-8523 埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5